

テーマ別評論題材

異文化・多様性・他者

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
水の東西（山崎正和）	●	●	●	●
一人の中にある無限（伊藤亜紗）	●	●		
他者を理解するということ（鷲田清一）	●	●	●	
「わたし」の輪郭（松村圭一郎）	●	●		
倫理と道徳（品川哲彦）			●	
【探究の扉】「倫理一般」は存在しない（伊藤亜紗）			●	
「異文化を理解する」とは（松村圭一郎）			●	●

自然・環境・共生

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
未来世代への脅威（戸谷洋志）	●	●		
【探究の扉】地球の限界と経済社会の危機	●	●		
【着眼】私の中にある生命の歴史（中村桂子）			●	
人と自然の共生とはどういうことか（河合雅雄）			●	
里山物語（日高敏隆）				●

情報と社会

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
ポスト・プライバシー（阪本俊生）	●	●	●	
S N Sに偶然はあるのか（戸谷洋志）				●
「差」という情報（佐藤雅彦）				●

言葉・論理・コミュニケーション

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
ものとことば（鈴木孝夫）	●	●	●	
心と「ことば」（八木雄二）	●			
コミュニケーション能力とは何か（内田樹）	●	●		
事実なのか考えなのか（野矢茂樹）	●	●		
会話という現象（三木那由他）		●	●	
論理的ということ（野矢茂樹）			●	
コインは円形か（佐藤信夫）			●	●
世間話はなぜするか（松井智子）				●
【探究の扉】非言語コミュニケーション（末田清子）				●
会話という営み（三木那由他）				●

経済・資本主義社会

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
時間と自由の関係について（内山節）	●	●	●	
浪費を妨げる社会（國分功一郎）	●	●		
感情暴走社会の由来（山極寿一）	●	●		
無痛化する社会のゆくえ（森岡正博）	●	●		
「わらしべ長者」の経済学（梶井厚志）	●	●	●	●
私有への欲望（平川克美）			●	

現代の国語
増補新版
現代の国語
高等学校
現代の国語
新編
現代の国語

政治・国際・職業

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
政治的思考（杉田敦）	●	●	●	
【探究の扉】未来をはじめる（宇野重規・中学生・高校生）	●	●	●	
【着眼】いま平和とは（最上敏樹）			●	
目指す世界の地図を作る（鴻上尚史）				●
一歩でも動く（瀬谷ルミ子）				●
【探究の扉】私の仕事（長濱ねる）				●

科学・生命

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
科学と非科学（中屋敷均）	●	●		
命は誰のものなのか（柳澤桂子）	●	●	●	

芸術・文学・歴史

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
無意識を滋養する術（ドミニク・チェン）		●	●	
『羅生門』の最後の一文（半沢幹一）		●	●	●
白（原研哉）	●	●		
「歴史を学ぶ」ということ（成田龍一）	●	●		
絵を前に思いをめぐらす（榎木野衣）	●	●		

新しいものの見方

	現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
ささやかな日常（平川克美）	●	●		
白紙（森田真生）	●	●		
風が通るとき（田中真知）			●	●
【着眼】「大人になる」ための条件（石井洋二郎）			●	
【着眼】退屈の反対は快楽か（國分功一郎）			●	
学び始める春（山本貴光）				●

実用文題材

＊さまざまな実用文素材で多様な言語活動ができるようにしています。
＊評論題材の「てびき」でも図表資料が扱えるようにしています。

		現代の国語	増補新版 現代の国語	高等学校 現代の国語	新編 現代の国語
複数の資料を読み比べて考えをまとめる	ウェブ記事・新聞記事	●	●	●	
資料を分析して考えをまとめる	白書	●	●	●	
目的に合わせて表現を工夫する	条例・パンフレット	●	●	●	
コミュニケーションの手段を考える	図・文章	●	●	●	
文章の構成を工夫して提案する	企画書	●			●
根拠の妥当性を説明する	商品レビュー			●	●
広告コピーを書く	広告				●
新聞記事の構成・表現の工夫をとらえる	新聞				●
適切な書式で通知する	手紙・メール				●
必要な情報を整理して書く	手順書				●